

令和元年度第2回美術館セミナー

- 1 日 時 令和元年11月23日（土）13：00～16：00
- 2 場 所 茨城県近代美術館 講座室
- 3 参加者 93名（申込み99名 欠席6名）
県内の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の教員，絵画教室等の美術に関する指導者，当館ボランティア
- 4 講 師 野村 重存 氏（画家）
- 5 内 容 美術講座「水彩画の基本 描くコツと裏ワザ」

今回のセミナーは、水彩絵具の基本的な扱い方や描くときのコツ、裏ワザなどを教えていただきました。透明水彩絵具と不透明水彩絵具の違いや筆に関する説明は非常に分かりやすく、参加者は、聞き逃さないようにと真剣にメモをとっていました。使用済みの牛乳パックをパレットとして使用すること、色を消したい「白抜き」には掃除用品「激おちくん」を使用すると程よく仕上がること等、裏ワザも参考になりました。また、野村氏は、「絵を描くというのは、目に写るものを写し取るだけではない。モチーフに問いかけ、観察し、感じる事が大事。」「なかなか描けないときは、擬音を口にしたたり（木々の葉・・・「ザワザワザワ、ワシャワシャワシャ等」、滝や川・・・「ジャバジャバ、ジャージャー等」、ジェスチャーで表現したりしながら描くといい。」などのコツを実演を交えながら解説してくださいました。

野村氏の温かい人柄が伝わり、話術もすばらしく、大変好評でした。

